

企画部市民参画課

1 米子市自治連合会

(1) 定例総会

平成18年5月28日 米子市福祉保健総合センターで開催した。新役員は、次のとおり。

会 長	齋 木 定 家 (成 実)
副 会 長	平 野 昭 二 (就 将)
〃	川 崎 康 資 (福生東)
〃	田 中 是 明 (彦 名)
〃	渡 部 武 男 (五千石)
会 計	田 中 是 明 (彦 名)
監 事	大 西 鶴 一 (彦 名)
〃	大 塚 祐 司 (春 日)

(2) 会 議

正副会長会	6回
常任委員会	9回

(3) 先進地視察研修

ごみ有料化問題に関し、平成18年11月28日・29日に常任委員により兵庫県相生市及び岡山県総社市への視察研修を実施した。

(4) 鳥取県自治会連合会総会

平成18年6月25日に鳥取市で開催され、正副会長が出席した。

(5) 全国自治会連合会大会

平成18年11月16日に山口県防府市で開催され、会長が出席した。

(6) 永年勤続役員表彰

自治会永年勤続役員(会長・副会長・部長・班長・監事)126人に対し、平成19年1月に市長から感謝状と記念品が贈られた。

2 地縁団体認可状況

申請に基づき、次のとおり地縁団体の認可を行った。

自治会名	認可年月日
角盤町4丁目自治会	平成18年5月19日

平成19年3月31日現在の認可地縁団体の総数は、57団体である。

3 米子市防犯協議会

(1) 定例総会

7月11日、市役所401会議室で開催した。新役員は、次のとおり。

会 長	齋 木 定 家 (米子市自治連合会長)
副 会 長	籠 津 裕 一 (米子市学校校外指導連絡協議会長)
〃	後 藤 巖 (米子市社会福祉協議会長)
〃	田 中 是 明 (米子市自治連合会副会長)

(2) 防犯灯設置及び防犯灯電灯料への助成

各自治会防犯灯の設置について、蛍光灯による新設92灯及び器具の取替え82灯に対し助成を行った。また、防犯灯電灯料(50%)についても助成を行った。

4 コミュニティ施設等整備

米子市コミュニティ施設整備費補助金 7件 2,634,285円

5 相談所の開設

各行政機関等の相談部門及び各種相談員と合同で相談所を開設した。

(1) 合同相談所

開設年月日	場 所	参 加 機 関
平成18年10月6日	米子市福祉保健総合センター 「ふれあいの里」4F会議室	鳥取行政評価事務所、行政相談委員、人権擁護委員、 鳥取地方法務局米子支局、米子社会保険事務所、 広島国税局税務相談室鳥取分室、鳥取労働局、 米子市社会福祉協議会、弁護士会、司法書士会、 鳥取県、米子市
1 回		

(2) 人権・行政相談

開 設 回 数	場 所	参 加 機 関
35回	米子市男女共同参画センター	人権擁護委員、行政相談委員

6 消費者行政関係

(1) 総合調整

- ・米子市消費生活審議会の開催

開催日 第一回 平成18年11月21日（本庁第二応接室）

第二回 平成19年 3月15日（第二庁舎第二会議室）

(2) 主体性のある消費者の育成

ア 情報提供

- ・消費生活情報検索サービス パソコン2台で対応
- ・市民ホールの掲示板及びパンフレット類（常設）

(3) 消費者被害の救済

- ・消費生活相談件数 1,380件（苦情 1,130件 問合せ・要望 250件）

(4) 消費生活情報体制の整備

国民生活センターより、PIO-NET（全国消費生活情報ネットワーク・システム）端末の無償貸与を受け、4台設置。

7 広報関係

(1) 視覚広報

ア 「広報よなご」を12回（No.13平成18年4月1日号～No.24平成19年3月1日号）制作し、全世帯を対象に発行した。

イ 次の印刷物を「広報よなご」と同時に配布した。

「県政だより」	12回	鳥取県発行
「米子市議会だより」	4回	市議会事務局発行
「よなごの国保」	3回	保険課発行
「心ゆたかに」	3回	人権政策課発行
「国民年金特集号」	1回	市民課発行
「高齢者特集号」	1回	長寿社会課発行

ウ 市の広報記事を新聞に掲載した。

新日本海新聞 1回

(2) パブリシティ活動

市長の定例記者会見を行い、積極的な資料提供を行った。平成19年3月現在の米子市政記者会加盟社は、

(イ) 提案方法

投 函	郵 送	市長へひとこと (電子メール)	そ の 他 の 電 子 メール	F a x 他	合計 (件)
6 5	1 2	1 1 4	1 9	1 4	2 2 4

(ウ) 提案箱設置場所と投函件数

設置場所	件数
市庁舎玄関ホール	4 1
淀江支所	6
図書館	1 1
文化ホール	1
児童文化センター	1
行政窓口サービスセンター	2
ふれあいの里	2
地区公民館 (27)	1
合 計	6 5

9 交通安全対策関係

(1) 交通安全運動

米子市交通安全運動推進協議会の主唱により、米子市セーフティ作戦2006に基づく各種運動を実施した。

名称	期 間	主 な 実 施 事 業
春の全国交通安全運動	4月6日 ～4月15日	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交通安全運動推進式 (公会堂前広場) ○ 交差点での安全確認励行作戦 (市内主要交差点) ○ 街頭広報 (えるもーる一番街周辺) ○ 交通マナーアップドライバー広報 (公会堂及び高島屋前周辺) ○ シートベルト・チャイルドシート着用ドライバー広報 <ul style="list-style-type: none"> ① 安来市と合同 (国道9号 安来市旧ホリデイランド前) ② 大山町と合同 (国道9号 大山町福尾交通観測所前) ○ 違反自転車イエローカード作戦及び反射材広報 (えるもーる、サティ前、淀江中学校校門付近) 主に高校生を対象に自転車のマナーアップ広報及び指導 ○ シートベルト・チャイルドシート着用推進道路での広報 <ul style="list-style-type: none"> ① 県道米子広瀬線 (石井) ② 国道181号 (福市) ③ 皆生街道 (東福原) ○ 交通安全街頭広報 (Aコープ淀江店駐車場) ○ 飲酒運転追放広報 (米子駅前周辺) ○ イエローストップのぼり旗作戦 <ul style="list-style-type: none"> ① 彦名 (内浜産業道路) ② 皆生 (国道431号)
夏の交通安全県民運動	7月12日 ～7月21日	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交通安全運動推進式 (公会堂前広場) ○ 交差点での安全確認励行作戦 (市内主要交差点) ○ 街頭広報 (えるもーる一番街周辺) ○ 交通マナーアップドライバー広報 (公会堂及び高島屋周辺) ○ シートベルト・チャイルドシート着用ドライバー広報 (国道181号 福市考古資料館前) ○ 違反自転車イエローカード作戦及び反射材広報 (えるもーる、サティ前) ○ 交通安全教室 (淀江地区) ○ 交通安全街頭広報 (Aコープ淀江店駐車場) ○ 飲酒運転及び違法駐車防止街頭広報 (朝日町・角盤町周辺) ○ 保育園児交通安全教室 (春日保育園) ○ シートベルト着用率調査 (各地区)

名称	期 間	主 な 実 施 事 業
秋の全国交通安全運動	9月21日 ～9月30日	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交通安全運動推進式（公会堂前広場） ○ 交差点での安全確認励行作戦（市内主要交差点） ○ マナーアップ街頭広報（えるもーる一番街周辺） ○ シートベルト・チャイルドシート着用及びイエローストップ広報 （公会堂及び高島屋周辺） ○ シートベルト・チャイルドシート着用ドライバー広報 （国道431号 弓ヶ浜公園前） ○ 交通安全ふれあい大会（ふれあいの里） 大会開催を通じ、交通安全運動の和を広げ安全意識の高揚を図る ○ チャイルドシート講習会（米子自動車学校） ○ 交通安全街頭広報（Aコープ淀江店駐車場） ○ ピカピカセーフティウォーク 参加者が反射材を身に付けて市街地をパレードし、着用を呼び掛け ○ 飲酒運転追放広報（角盤町通り・朝日町周辺） 飲食店で啓発物品配布を行い、飲酒運転の追放を呼び掛け ○ シルバードライビングスクール（米子自動車学校） 65歳以上の高齢者を対象に、カーブ走行、進路変更などの運転実技指導 ○ 薄暮時の前照灯早期点灯自動車広報 市内主要道路をパトカー・広報車等でパレードしながら前照灯の早期点灯を呼びかけ ○ 反射材街頭アピール（淀江地区） 地区内幹線道路で反射材を着用し、通過車両や歩行者などに反射材の効果をアピール ○ 違反自転車イエローカード作戦及び反射材広報（えるもーる・サティ前） ○ 高齢者交通安全啓発（淀江地区）
年末の交通安全県民運動	12月13日 ～ 12月22日	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交通安全運動推進式（公会堂前広場） ○ 交差点での安全確認励行作戦（市内主要交差点） ○ 街頭広報（えるもーる一番街周辺） ○ シートベルト・チャイルドシート着用及びイエローストップ広報 （公会堂及び高島屋周辺） ○ 飲酒運転追放ドライバー広報（国道181号 福市考古資料館前） ○ 飲酒運転追放交通安全教室（米子自動車学校） ○ 自転車イエローカード作戦及び反射材広報（えるもーる・サティ前） ○ 反射材街頭アピール（淀江地区） ○ 薄暮時の前照灯早期点灯自動車広報（市内主要道路） ○ ピカピカセーフティウォーク（市役所～米子駅前） ○ 飲酒運転追放広報（米子駅前周辺） ○ 交通安全街頭広報（Aコープ淀江店駐車場） ○ 保育園児交通安全教室（崎津保育園）

(2) 交通安全活動の推進

ア 米子市交通安全指導員の委嘱と活動推進

(ア) 人数 79人（平成19年3月31日現在）

(イ) 登校時における児童・園児の通行の保護、誘導。交通安全運動（年4回）の推進。

がいな祭、皆生トリアスロン大会等での交通安全確保の協力。

イ 米子市交通安全えがおの会の活動推進

市内27地区のえがおの会の活動を助成。交通安全運動（年4回）の推進。女性ドライバー安全運転学校、マイカー点検教室などに参加。機関紙「ふれあい」の発行。

(3) 交通安全教育の推進

ア 交通安全作文の募集

市内の小・中学生を対象に、交通安全に関する作文を募集した。

応募者数 204人（小学生 13人、中学生 191人）

入選者16人を表彰した。

環境美化・交通安全作文集を作成し、小・中学校、関係者に配布した。

10 交通災害共済関係

(1) 加入状況

区 分	加入人数(人)	加入口数(口)
一般受付	2,852	4,816
団体受付	12,025	13,106
計	14,877	17,922

(2) 給付状況

区 分	事故件数(人)	給付金額(円)
死 亡	2	3,000,000
療 養	62	3,951,000
計	64	6,951,000

11 国際交流事業

(1) 友好都市中国保定市

ア 米子市・保定市友好都市提携15周年記念代表訪中団派遣(7人)

期間：平成18年11月16日～18日

友好都市提携15周年記念の催しに市長を団長とする訪中団を派遣し、記念の催しに参加するとともに両市長間協議を行い、今後の交流事業について協議した。

(2) 姉妹都市韓国東草市

ア 東草市訪日団受入

(ア) 東草市事務事業協議訪日団受入(3人)

期間：平成19年1月30日～2月2日

東草市企画監査室長を団長とする訪日団を受入れ、職員の短期派遣研修など今後の交流事業について担当者間で事務協議を行った。

イ 米子市東草市民間交流促進

両市の交流を市民レベルに拡大し定着させていくため、民間グループの交流について連絡調整等の支援を行い、交流の発展に寄与した。

(ア) 日韓高校・中学生ホームステイ交流事業(51人)

期間：平成18年7月21日～25日

鳥取県西部地区日韓親善協会と交流している東草市の民間団体の米子市姉妹委員会の交流事業として東草市の高校・中学生41人が本市を訪問し、ホームステイ等を行い、交流を図った。

(イ) 江原道・鳥取県青少年柔道大会(60人)

期間：平成18年8月1日～4日

鳥取県西部地区日韓親善協会・鳥取県柔道連盟が県内の柔道クラブに所属する小・中学生29人や保護者らで組織する訪韓団を派遣し、東草市や楊口郡で柔道大会などを行い、交流を深めた。

(ウ) 日韓親善の夕べ開催(10人)

期間：平成18年11月7日～10日

鳥取県日韓親善協会連合会などの主催により東草市からサムルノリ(東草ドゥドゥリ)を招請し、日韓親善の夕べに参加するなど文化交流を図った。

(3) 環日本海諸国との交流

ア 環日本海拠点都市会議への参加

期 間：平成18年10月19日～21日

開 催 日：平成18年10月20日

参 加 者：米子市長(以下3人)

参加都市：全9自治体、日 本／米子市・境港市・浜田市・鳥取市

韓 国／束草市・東海市

中 国／図們市・延吉市・琿春市

韓国・東海市で開催された第12回環日本海拠点都市会議に米子市長ほかが出席し、参加都市代表者と共に環日本海地域の経済交流の発展方策等について話し合った。

(4) 国際交流員の雇用

J E Tプログラムによる国際交流員を雇用し、海外との連絡調整、翻訳、通訳等の業務を通じて、友好都市交流事業の円滑化を図った。また市内公民館、小中学校などで国際理解講座及び市民を対象とした韓国語講座、中国語講座を開催し、市民の国際意識の高揚を図った。

- ・国際交流員（韓国担当）：柳 潤 慶
- ・国際交流員（中国担当）：朱 遠 萌

(5) 友好都市児童画作品展

ア 国際児童美術交流展

期間：平成18年5月31日～6月4日

会場：束草文化会館

米子市を始めとする束草市国内外友好都市の児童画作品展が開催された。

イ 保定市児童絵画展

期間：平成19年2月9日～21日

会場：児童文化センター

米子市美術展覧会に併せて、保定市の児童絵画を展示する。

(6) 地域国際化事業

ア 在住外国人及び地域国際化相談業務

来庁、電話等で寄せられる市内在住外国人の日常生活、言葉等に関する問題及び一般市民からの地域国際化に関する問い合わせに対し、相談業務を行った。

イ 国際理解講座の開催

市内の小学生（3年～6年）を対象に、韓国語を中心とした「国際理解講座」を開催し、小学生の国際意識啓発に寄与した。

期間：平成18年7月～10月の土曜日に計10回

会場：児童文化センターほか

参加者：17人

ウ ペらっとハングル・スピーチコンテストの開催

鳥取県西部地区の住民を対象に韓国・朝鮮語のスピーチコンテストを開催し、日頃の学習の成果を競いながら情報交換し、交流を図った。

日時：平成19年2月11日

会場：米子市役所401会議室

発表者：21人

エ 民間交流支援

(ア) 韓国出版関係者訪問

平成18年4月15日、平成14年に開催された「国民文化祭出版文化展」に韓国の図書を寄贈された李斗暎氏ら関係者6人が本市を訪問し、米子市助役と懇談するなど交流を深めた。

(イ) ネパール・カトマンズ青年会議所市長表敬訪問

平成18年5月22日、米子青年会議所と友好交流を図っているカトマンズ青年会議所（5人）が米子市長を表敬し、両会議所の友好交流の促進を確認し合った。

(ウ) 鳥取県モンゴル中央県親善協会児童市長表敬訪問

平成18年7月5日、鳥取県モンゴル中央県親善協会の招請によりモンゴル中央県からの児童（10人）が米子市長を表敬し、米子とモンゴルの情報交換を行い、交流を深めた。

(エ) 米子中央ライオンズクラブ交換生市長表敬訪問

平成18年8月11日、米子中央ライオンズクラブのノルウェーからの交換生（1人）が米子市長を表敬し、米子とノルウェーの情報交換を行い、交流を深めた。

(オ) 国際ロータリー第2690地区研究グループ交換生市長表敬訪問

平成18年10月11日、国際ロータリー第2690地区の米国・ノースカロライナ州からの研究グループ交換生（6人）が米子市長を表敬し、両クラブの交流の促進を確認し合った。

(カ) 駐日イスラエル大使市長表敬訪問

平成18年11月22日、駐日イスラエル大使のエリ・コーヘン氏が米子市長を表敬し、米子とイスラエルの情報交換を行い、交流を深めた。

オ 市民ボランティア育成事業

市内在住外国人の生活支援を目的とする市民ボランティア団体米子国際交流協会の活動に対し支援を行い、外国人にとって住みやすいまちづくりと草の根交流の促進を図った。

(ア) 広報紙の作成と配布及びホームページ公開

広報紙「ワイズジャーナル」年3回発行（150部）

国際交流協会作成のホームページへのアクセス 年間708件（総数10,464件）

(イ) 各種交流事業の開催

・料理教室の開催

日時：平成18年9月10日 場所：明道公民館 参加者：19人
タイ料理を紹介し、市民交流を行った。

日時：平成19年2月25日 場所：明道公民館 参加者：20人
中国料理を紹介し、市民交流を行った。

・夏の交流会

日時：平成18年7月29日 場所：男女共同参画センター 参加者：47人
市内在住外国人と市民及び民間交流団体が一堂に会して交流を深めた。

・バーベキューパーティー（野外レクリエーション活動）

日時：平成18年8月27日 場所：皆生海浜公園 参加者：70人

・冬の交流会

日時：平成18年12月10日 場所：男女共同参画センター 参加者：30人
市内在住外国人と市民及び民間交流団体が一堂に会して交流を深めた。

1.2 米子市中学生国内体験学習事業

米子市青少年人材育成事業の一環として、北海道の競走馬牧場に市内に在住の中学生11名を派遣し、その地域の自然と文化に接するとともに、体験学習をとおして働くことの喜び等を体験した。

派遣先：北海道新冠郡新冠町内の競走馬牧場

派遣期間：平成18年8月2日～8日（7日間）

派遣団：

派遣団員		派遣牧場名
団長（学校教育課）	三浦哲也	オリエント牧場
引率（市民参画課）	永見公一	
後藤ヶ丘中3年	松崎愛奈	豊洋牧場
淀江中1年	西古静香	
湊山中3年	伊藤弘紀	ラッキー牧場
淀江中2年	新畑和紀	
弓ヶ浜中1年	足立夏海	森牧場
淀江中1年	西村幸恵	
北斗中3年	中井ひとみ	ヒカル牧場
淀江中1年	吹野 蛍	

弓ヶ浜中1年	田 中 聡	大栄牧場
後藤ヶ丘中2年	今 岡 優 作	
加茂中2年	松 本 香 穂	豊巻牧場

1.3 市民総合災害補償制度関係

市が主催する行事又は社会奉仕活動等に参加した者が、その参加中において身体に傷害を被った場合に、被災者に対し米子市民総合災害補償金及び米子市市民活動等傷害見舞金を支給した。

(1) 傷害事故の発生状況（事故報告書提出分）

区 分		主 な 活 動	件 数
市が主催	社会奉仕活動	運動会、スポーツ大会等	37
	社会教育・生涯学習活動	学習会、公民館祭等	2
	住民が参加する行事	清掃活動等	6
市が依頼した社会奉仕活動		清掃活動等	
計			45

(2) 補償金及び見舞金の支給状況

区 分		市民総合災害補償金				市民活動等傷害見舞金	
		死亡給付金		入院・通院補償給付金		件数	金額（円）
		件数	金額（円）	件数	金額（円）		
市が主催	社会奉仕活動			37	1,535,000		
	社会教育・生涯学習活動			2	260,000		
	住民が参加する行事			6	90,000		
市が依頼した社会奉仕活動							
計				45	1,885,000		

1.4 まちづくり活動等支援交付金等

(1) 米子市ボランティア活動支援交付金事業

住みよいまちづくりのため、住民が主体となって取組んでいる環境美化、青少年育成、交通安全の推進等の活動を支援するため、これらの活動団体に対して米子市ボランティア活動支援交付金を交付した。

団 体 名	交付金額（千円）
米子市交通安全えがおの会	630
淀江地区高齢者交通事故防止推進協議会	165
米子市環境をよくする会	2,700
加茂川を美しくする運動連絡協議会	400
米川堤防のつつじを育てる会	407
福市遺跡公園のつつじを育む会	300
青少年育成米子市民会議	1,820
計	6,422

(2) 米子市まちづくり活動支援交付金事業

市内で活動する団体が、地域課題の解決やよりよい市民生活の実現のために、創意工夫して行う自主的・継続的な活動を支援するため、公募型の交付金制度を創設した。

本年度は12団体からの応募について、外部委員からなる選考委員会においてプレゼンテーションによる選考の結果、10団体の事業に交付金を交付した。

ア 交付金額

交付対象事業経費の3分の2以内（上限20万円）。

イ 交付対象事業

団体名	対象事業	交付金（千円）
小波上自治会	集落内環境整備事業	200
緑ヶ丘グリーンハイツ防犯・環境対策委員会	地域防犯・防災普及事業	200
五千石地区青少年育成会	地域安心・安全マップ作成事業	200
箕蚊屋中学校区地域安全推進連絡会	地域安全活動事業	200
米子市ボランティア協議会	やる気を育てるボランティア研修会	144
ゴスペルオーブズ	しあわせ列車がやってくる（ふれあいコンサート）事業	200
子育てをよくする会	子育てを地域で深める勉強・研修会事業	200
わだつみパトロール隊	地域安全パトロール事業	122
崎津児童クラブ設置推進保護者会	さきつっ子クラブ（学童保育）事業	200
河崎地域安全パトロール隊	地域安全パトロール事業	99
計		1,765

1.5 米子市民交流広場利用状況

市民相互の交流及び市民の自主的なまちづくり活動を促進するため、米子駅前ショッピングセンター内（米子駅前サティ4階）に米子市民交流広場を設置。

- (1) 利用申請件数 21件
- (2) 利用日数 98日
- (3) 利用延べ区画数 462区画

1.6 市民参画・協働のしくみづくり

(1) パブリックコメントの制度化

市の政策・施策に関する計画や条例等を策定する際に、計画等の案の段階で公表することによって、市民の多様な意見を市政に反映させる機会を確保し、政策・施策形成過程における行政運営の公平の確保と透明性の向上を図ることを目的として「米子市市民意見公募手続」を制度化した。

(2) 自治組織等と行政との連携のあり方の検討

本市における住民自治組織、各種協議会、任意団体、ボランティア団体、NPO法人、市民等と行政との連携及び協働によるまちづくりを推進するため、関係課長による内部組織「米子市自治組織等との連携及び協働のあり方検討会」を設立し、検討結果報告書を作成した。

(3) 市民参画・協働推進計画の策定

平成16年3月に「米子市市民参画推進指針」を策定し、行政計画や条例等さまざまな政策・施策形成過程等で市民参画を図ってきたが、今後さらに、市民の意識や価値観の変化に応じた政策・施策を進めていくためには参画に留まらず、市民と行政がそれぞれの役割と責任を分担しつつ、市民と行政との協働を進めていく必要があり、本年度策定した「新米子市総合計画」においても「市民との協働によるまちづくり」をまちづくりの基本理念と位置付けた。

今後「市民と行政による協働のまちづくり」をより具体的に推進するため、外部委員会「米子市市民参画推進計画策定委員会」を設置し「米子市市民参画・協働推進計画案」を策定した。